



NPO日本朗読文化協会

朗読ニュース

2014年春号

2013.12.15 第6回朗読アラカルト 於高輪区民センター・ホール



2013.11.29 ヒルズ・サロン朗読会

○ 新年のご挨拶

理事長 城所ひとみ



新春のお慶びを申し上げます。

10年ひと区切りと申しますが、NPO 朗読文化協会もその10年を超えて去年は再スタートの年として、「朗読の日」も新たな気持ちを持って、新企画を打ち出し、とてもご好評を頂き、沢山の皆様にご来場頂くことができました。

運営委員、実行委員、スタッフとして活躍して下さった会員の方々など、かかわった皆様すべての方のエネルギーの結晶だったと深く感謝しております。

協会の活動にも大きな進歩、前進がありました。朗読教室の充実、加賀美朗読名誉会長の指導による古典朗読指導者養成講座の開設、ボランティアではボランティアグループかもめの日々の積極的な活動、震災被災地への訪問朗読、各種朗読会の開催など、会員の皆様が参加できる機会を沢山設けております。そんな私達の会に一昨年、昨年と2回にわたり横澤美子様からの合計200万円のご寄付を頂きましたことは、この会がそれだけ成長し、認められたという証でもあり、感動すら覚えております。そのご寄付を今後のNPO 朗読文化協会にとって意義ある形で運用していくべくしっかりと考えて参ります。

今年はいよいよ港区等小学校への朗読指導に NPO 日本朗読文化協会のインストラクターが出かけて行きますし、数か所の図書館からの朗読会も依頼が来ております。皆さま素晴らしい NPO 日本朗読文化協会の会員であるという誇りを持って、朗読に精進をして、朗読の普及にも励んで下さいませ。私も理事長として、皆様をサポートするべくいっそうの努力を致しますこととお誓いして新年のご挨拶と致します。

○ 第6回朗読アラカルト

担当 山村都

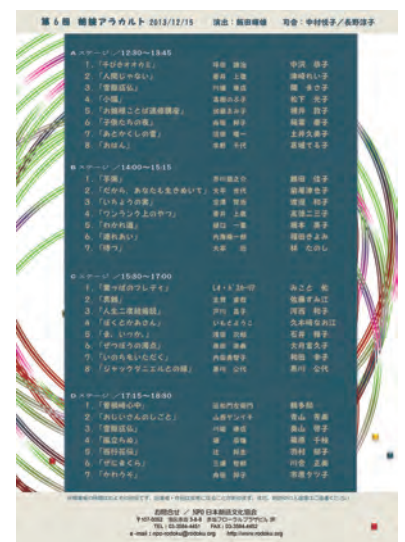


第6回朗読アラカルトが、2013年12月15日(日)12:30～18:30、高輪区民ホールに於いて開催されました。例年、出演者先着順30名締切が、あっという間に定員に達してしまう人気のイベントです。

持ち時間枠10分、そして演出・音響・照明全てプロ仕様という中、今回も新しい会員の方に多くの参加を頂きました。しかし初めての出演といっても、経験を積まれてきた方も多く、清々しい緊張感のなかに、個性的な30名の熱い想いがステージに

満ち溢れ、それが客席にと広がり、今年は特に素晴らしいステージになりました。そしてご来場いただいた沢山(220名)のお客様の、帰り際の嬉しそうな顔…。胸がいっぱいになりました。

大勢のお客様の力はスゴイです！ひとりでは決して出来ないこうした力の結集の賜物が、沢山の拍手を頂き、良い朗読シーンを生み、舞台上に係わった全員がキラキラして…こうしてみんなで創り上げたイベントとなりました。そして、最後のステージまでお客様が席を離れなかったこと。これはひとえに出演者のパワーそのものと感じました。



八重洲朗読会 11月30日

2013年
11月 八重洲朗読会
【第80回】

旅への誘い	織田作之助 作	田中 邦子
逝く母と詠んだ歌	永田 紅 作	深澤真理子
山桜のうた	松田 解子 作	塩田 睦子
パパ、ドントクライ	原田 宗典 作	河崎 早春

※プログラムは変更になることがあります。



ヒルズ・サロン朗読会 11月29日

ヒルズ・サロン 朗読会
Eleventh stage

・次回は来春の開催を予定しております。

日 時 2013年11月29日(金) 14:00～16:00(開演13:30)
会 場 ハリウッドビューティプラザ4F
東京都港区赤坂 赤坂7丁目 3C 202号
大塚ビルディング 4Fハリウッドプラザ
〒106-0032 港区赤坂 6-4-1 TEL: 03-3403-5211 (代)
会 費 3,000円(参加費は別途ご用意いたします)
定 員 28名(要申込)

プログラム
14:00 美・ブニュー・・・朗読(つやゆげ)美人に似せしやう!
15:00 朗読の巻と 朗読タイム
田中 邦子 佐藤滋子 作「暇」
塩田 睦子 アンデルセン 作「人魚姫」



加賀美講座

古典朗読訪問プロジェクトについて

田中邦子

「子供達に古典の楽しさを伝える」目的で企画された講座です。半年の講座で枕草子・徒然草・平家物語などを習得しなければなりません。ワークショップの時は、自発的・自主的に活動を行う場…との本来の意味どおり、持ち時間3分で読みと自分の思いを全員が述べます。受講生は今までになく図書館に何度も通ったり、本を何冊も買い込んで、受験勉強しながら取り組んでいます。でもこの苦しい古典との格闘がいつの間にか楽しみに喜びにかわっていることに気づきます。「みんな違って、そこがいいのよ」と言われることを受け止め、それぞれ個性を発揮して発表、他の方のを聴いてそんな視点もあったかと驚き、また先生の的確なひとことコメントがとても楽しみで、全てが勉強になります。加賀美先生の古典に対する情熱を私達がしっかり受け継ぎ、未来をにう子供達に届けたいと思います。





朗読アラカルトに出演して



◆**前尾津也子**◆「朗読アラカルト」に出演するのは、今回で4回目。今回は、「だから、あなたも生きぬいて」という作品を関西弁で朗読しました。日ごろは絵本や詩の朗読をすることが多いのですが、「朗読アラカルト」ではいつもとは少し違うジャンルの作品にも挑戦しています。新たなチャレンジをする中で、壁にもぶつかり、どのように表現すれば良いのだろうかかと悩んだりしますが、それでも「朗読アラカルト」という機会を通じて、じっくり一つの作品に向き合う中で、少しずつ自分の朗読の幅が広がっていくように思います。舞台上立って朗読して初めて気づくことも多く、また、プロに演出していただけるチャンスはこの上なく貴重です。朗読を聴きに来てくださったお客様に、「朗読っていいものね」と感じていただけるような朗読を心がけていきたいと思っています。



◆**和田幸子**◆確か小学校低学年の頃だったと思います。授業で先生に指名されて、国語の教科書を読むことになり、ドキドキしながら読んだ後、先生に褒められて、とても嬉しかった事を思い出しました。その後、子育て、介護にあけくれていた日々も終わり、ふと出会った朗読の世界に惹かれて入会しました。今になって朗読の楽しさを味わう事が出来たなんて、本当に私にとっては幸せなことだと思っています。今回アラカルトにも出演させていただき、ますます朗読の世界の奥深さを痛感しているこの頃です。始めて日はまだ浅いのですが、ボランティア活動にも参加して出来る範囲で長く続けていければ嬉しいと思っています。



◆**松下光子**◆「朗読」という扉をノックして、その世界に魅せられた。若輩者の私が、今回2回目の出演となった。本番当日は出演前を待つ緊張感、照明・音響と10分間の貴重なステージは、とてもスリリングな舞台となる。有難い事は事前の読み合せがあること。演出家の指導、音響のアドバイスは、刺激と新たな発想に繋がってゆく。また順番を待つ控え室での会話の中に、沢山の「あっ！そうなのか」と学ぶ事がある。「発見」が私の鞆の中に詰まり貴重な宝となる。思い切って参加して良かったと思う。「アラカルト」に限らず、本番は1回限り。この時、自分の作品を描いていたように届けられるには、まだまだ未熟な私である。皆さんに届く朗読に向かっていこう！ポジティブシンキングの私は、次回またチャレンジしたい！と思い帰路の飛行機に乗り、札幌へ向った。



◆**鶴太郎**◆広く朗読の世界を知り、勉強したいと昨春協会に入会しました。あっという間にアラカルトの日も近くなり、何だかもう逃げ出したい気分でしたが、理事長様はじめ、事務局の方々のお骨折り、演出の先生とボランティアの方々のご協力、応援に来てくださった友人たち、はじめての大勢のお客様、皆様のエネルギーにすぎ間なく囲まれて、作品に集中する事が出来ました。感謝しております。ありがとうございました。

朗読あ・れ・こ・れ 新会員は語る



◆ 添川江利子 ◆

「100万回生きたねこ」という作品があります。元気になりたい時。少し淋しい時。様々なシーンで大小声を変えては読んでみるのです。ある時ライブでこの本を読みました。40名入れば満席になってしまう所。ふと、すすり泣きが聞こえてきました。“こんなに深い本だったんですネ”と感想を頂きました。私の声。ミュージシャンの織り成すメロディー、他、色々な事が物語と重なり、流れた涙。また、ある時。長新太の絵本を読みました。短い言葉で散文のような絵本。この方の本は、色使い、構図を含めて一頁が完成されている様なもの。でも絵を見せなくても笑いが起こり、溜息が聞こえてくるのです。ボランティアで聞いて頂いている時にも同様です。物語に込められた文字を丁寧につむいだ結果だと思っています。答えのない作業。書物と向き合うのは、自分自身とゆっくり対話出来る静かな豊かな時間と感じます。



◆ 岩崎三恵子 ◆

中学生の頃から児童劇団に入り、学校の放送演劇部に6年間所属しておりました。今も、地元の朗読サークルで、仲間と朗読を楽しんでおります。私が朗読させて頂いた中で感動的だった本は、「星野富弘さんの詩画集」です。体育教師として赴任してまもなく、模範演技中の事故で、首から下が動かなくなってしまいます。不自由になった体で、口に筆をくわえて、花の絵や詩を描いています。彼の作品は、優しさ、温かさ、強さの中にユーモアが溢れているので、思わず微笑んだり、涙したりしてしまいます。もう一冊お勧めしたいのは、山本有三さんの「無事の人」という短編です。腕の良い職人だった主人公が、人の妬みの中で、人生が大きく変わってしまいます。しかし、どんな状況の中でも、彼は男らしく、真っ直ぐに生きていきます。感動です！是非ご一読を！！



◆ 先崎仁思 ◆

毎年9月22日から26日は、動物愛護週間。ぼくは、その期間、自治体から招かれ動物愛護関連のイベントに参加させていただくことがあります。先崎仁思ではなく作家・悠崎(ゆうざき)仁(じん)としてペットロスを経験した詩を書き、それをプロの朗読家が読む、その舞台を観るためです。今年の「朗読の日」では、拙作を日本朗読文化協会のために役立てていただくことができました。作品タイトルは、「震災～おとうさんの家、ぼくの家」。東日本大震災に伴う福島第一原発事故により警戒区域に指定され、そこに取り残された親子の犬の物語です。紙に書いた文字は、作者にとっては2次元のイメージです。でも、そこに演者と演出家の先生方によって奥行きと高さや深さが与えられることによって、文字は3次元を成します。それが余韻となり、記憶にとどまって人々の心の中で生き続ける。その瞬間を購入したDVDの中に見ることができました。



◆ 土井久美子 ◆

朗読を学ぶようになって、もうすぐ4年がたつ。若い頃から好きだった芝居を、子育てが一段落ついた7年前から始め、その時指導を受けた女優さんの朗読ワークショップへ行っただのが最初だ。そこで70才を過ぎた女優さんの朗読を聴いた。淡々と読んでいらっしやるのに心に染みてくる。その方の人生の重みや味が伝わってくる。私はその上手な読み方を真似るようにした。声の低さや速さを録音して一生懸命真似た。そんな時だ。「読み手の心が動かなければ聴き手の心も動かないよ」指導者の言葉にはっとした。それ以来、私の朗読に対する取り組み方が変わった。言葉一つ一つに私の心が動いているか。読んでいる私にその風景が見えているか。しかし、これが難しい。その心も風景もいつも私の引き出しにあるとは限らない。日常生活のちょっとした感情や風景に心を配るようになった。私の朗読はまだ始まったばかりだ。いつか誰かの心に届けられる事を夢見て。



◆ 柏瀬容子 ◆

私の忘れられない朗読の思い出と言えば、もう随分前のことになりましたが、はじめて企画・構成・演出・出演に加え、ちらし作成やチケット販売まで、全ての行程に関わり行った朗読公演のことです。私は、アナウンサー・ナレーター・声優など、声の仕事を経験しております。多大な労力を要しましたが、その分、感動もひとしお大きなものとなりました。2時間公演のラストに読んだのは『葉っぱのフレディー』。皆に愛されている作品だけに、特に真剣に聴いて頂けたようです。私の朗読にだけ集中された張り詰めた空気感。私と一緒に物語の中に入ってフレディーの気持ちとなり、涙して下さっていた方々。緊迫感とあたたかさ。心の解放とやすらぎ。読み手と聴き手が一体となり、その世界を共有できる喜びが、朗読の魅力だと思います。再び、あの感動を味わってみたい！今、そんな心境になっている私です。



◆ 山口誓志 ◆

九月に入会後、ボランティア「かもめ」で施設訪問朗読、蒔村教室では三月の朗読会に向けて稽古を重ねている。国木田独歩の「鹿狩」を読む。元々、図書館での対面朗読と録音作成のボランティアから朗読界に入ったが、三年前からyoutubeの朗読を初めて、これまでに千以上の作品を読んでいる。明治・大正文学やロシア文学、殊にドストエフスキーの長編の全文朗読はライフワークとして取り組んでいる。海外にも配信されていて最近、ブラジルからメッセージが届いた。「六十年前に日本から移住し、高山奥地に住んでいる友人がいる。幼少より文学を愛好し、今は盲目となり、周囲に日本人のいない彼に、「maguchiish」を録音したCDを届けていて喜んでいらっている」という。「maguchiish」とは、私の朗読検索名。私の声は、海を渡って届いていた。

瀬戸内寂聴 訳「源氏物語」



源氏物語

〈語りと筑前琵琶〉
上原まり

好評
発売中

CD全6タイトル
定価・各2,000円(税込)

- ◆ 空蟬・夕顔
■ KICG15070
- ◆ 明石・松風・薄雲
■ KICG15071
- ◆ 若紫(上・下)
■ KICG15072
- ◆ 紅葉賀・花宴
■ KICG15073
- ◆ 葵(上・下)
■ KICG15074
- ◆ 玉鬘(上・下)
■ KICG15075



千年前の王朝の世界へ誘います

瀬戸内寂聴訳



声にして楽しむ源氏物語

好評
発売中

KICG-5068~69
CD2枚組
定価3,000円(税込)

心と心が響きあう朗読の魅力

瀬戸内寂聴訳

- 朗読：NPO日本朗読文化協会会員
宮崎弥生・秋山雅子・岩瀬弥永子
福田雅世・飯島晶子・安倍真壽美
坂本有子・加藤敏子・松島 邦
- (Disc 1) (Disc 2)
- ① 桐壺 ① 末摘花
 - ② 藤壺 ② 朧月夜
 - ③ 空蟬 ③ 六条の御息所
 - ④ 夕顔 ④ 明石
 - ⑤ 若紫 ⑤ 源氏物語の魅力
- (巻頭) 瀬戸内寂聴

【第42回】日本レコード大賞[企画賞]受賞作品!

昔話ふるさとへの旅

21世紀へつなげたい「ふるさとの昔話」。
全国47都道府県を地元の言葉で現地録音。

全47タイトル
好評発売中
各定価 ¥2,000 (税込)

温かく、優しく聴えてくれる
「ふるさと」がいろいろあります。



【CD全47タイトル】■KICG-3181~3227 ジャケット表紙絵：鈴木ひろえ

市原悦子さんのナレーションで始まる「昔話」。

7年の歳月をかけて現地の語り手によって、生の声を
現地収録いたしました。貴重な伝承文化遺産である「昔話」は、
大人や子供達にとって大切な「心のふるさと」です。

7年の歳月をかけて現地で収録した全国47都道府県の「ふるさとの昔話」の数々。
かつて「昔話」は、子供達への楽しみや教訓、日常生活意識を反映しながら語られて
来ましたが、情報文化の発達した今日、「昔話」は大変貴重な日本の伝承文化財産とな
っています。
このCDでは全国のそれぞれの地域に昔から伝わる「昔話」を中心に、現地の語り手によ
って地元の言葉で現地収録しました。
大人や子供達にとっていつまでも「心のふるさと」として、今後私達の生活の中で育まれ
ていきますことを、心から願っています。

美しい
日本語

全65タイトル好評発売中!

全65タイトル好評発売中!



美しいことばと豊かな心

Roudoku Series

朗読CDシリーズ心の本棚

【第一弾】 【第二弾】

CD全15タイトル 各¥2,000円(税込) CD全15タイトル 各¥2,000円(税込)

【第三弾】日本の詩歌

CD全15タイトル 各¥2,000円(税込)

【第四弾】名作を聴く

CD全10タイトル 各¥2,000円(税込) / 2枚組各¥3,500円(税込)

【第五弾】日本人のこころと品格

CD全10タイトル 各¥2,000円(税込)

■詳しい資料をご希望の方は キングレコード株式会社 〒112-0013 東京都文京区音羽1-2-3 ストラテジックマーケティング本部 制作第二グループ 03-3945-2119

キングレコードの朗読CDはお近くのレコード店でお求め下さい。又は下記へ直接お申込み下さい。

●下記によるご注文の商品の送料(¥600)はお客様のご負担となります。

フリーダイヤル 0120-340-670

インターネット <http://www.kingrecords-eshop.jp> (キングレコード・イー・ショップ)



KING RECORDS

FAX 03-3945-9086

ハガキ 〒112-0013 東京都文京区音羽1-2-3 キングレコード(株)内キングダイレクトアクセス行

キングレコードの情報は <http://www.kingrecords.co.jp>

h!samatv